

遠 13
2378
329

石橋山義兵白旗

上册

甲午孟春

通油町

烏有山人作

鶴屋版

歌川國芳画

村田内後

石橋山義兵の白旗

成徳乃人其無為ふして國家天下と定め無頼の

劇中て家國を乱る治亂興亡の天の時なり天の晴雨あるに

い中人源平の哉あり蝸牛の角は尖る毒蠱の軍ありどもとも眼を

むく話る人もさる人をもさるけのくさけてそれたりの

はちえをさるるの差のるまこと頼朝公蛭の鳥の添入めて

義兵を起す四海の亂を起さる宇宙清平武家天下の開基を成

天保甲午春

烏有山人述

頁目

元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...



元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...



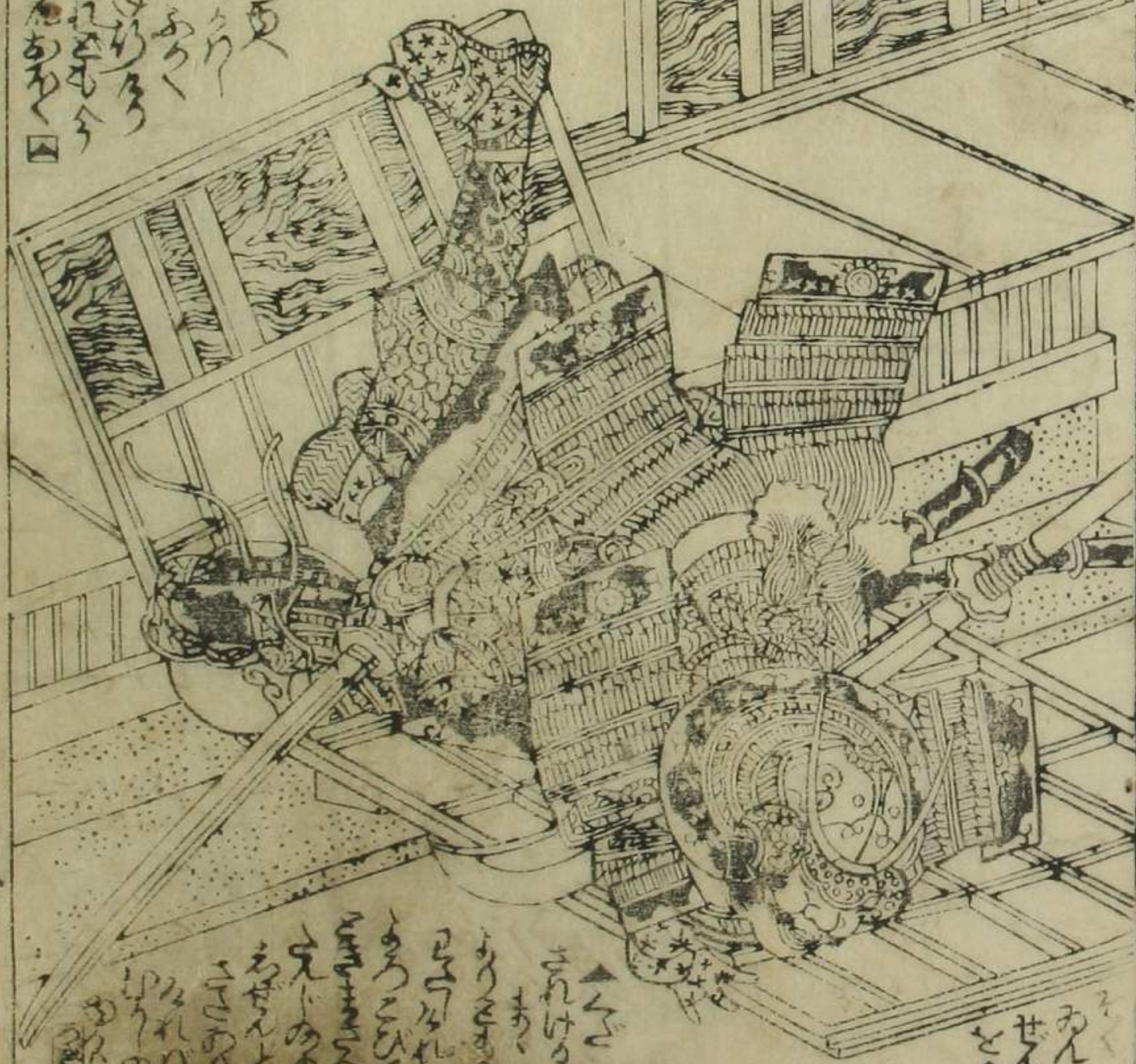
元平...
 元平...
 元平...
 元平...
 元平...

〆きおのすむに公ををりしひをまじり
 のちをせえとをりすやちわたりりける
 されぬ世のありきるを見合て年月をわらう
 むめつものちのちあう人のさき及まけちり
 まの人の赤人多りなれども今平家まぢの
 のゆせさうづらぬめ
 しきわひんよこえたり
 ありきも入たるはまあふ
 舟入及ふ船大番よ
 の初りてす小男かきと
 まうけりうあつくとわづけ
 三ののまき入及ちりけ
 のいさままのあらいり
 平家よりとちあわが
 いかせえとせまらう
 山ちの白くさあふ
 づけませとあま
 三人あやめたり二人あび
 とまひいらくまれぬ
 入及びりてしひをまじ
 らん人のちあつとせ
 りひつひのまをりて
 ころいぬあきも
 つらうらむれども
 せいりく
 二ふありて又



〆たか
 あ入らむひさるてさねれあ
 まりあまゆきたりくまふと山
 まへゴトのりんか
 〆これげれがまうらるく
 ありきも入たるはまあふ
 舟入及ふ船大番よ
 の初りてす小男かきと
 まうけりうあつくとわづけ
 三ののまき入及ちりけ
 のいさままのあらいり
 平家よりとちあわが
 いかせえとせまらう
 山ちの白くさあふ
 づけませとあま
 三人あやめたり二人あび
 とまひいらくまれぬ
 入及びりてしひをまじ
 らん人のちあつとせ
 りひつひのまをりて
 ころいぬあきも
 つらうらむれども
 せいりく
 二ふありて又

〆入ふ
 ころいぬあきも
 せいりく
 二ふありて又
 〆入ふ
 ころいぬあきも
 せいりく
 二ふありて又



〆入ふ
 ころいぬあきも
 せいりく
 二ふありて又

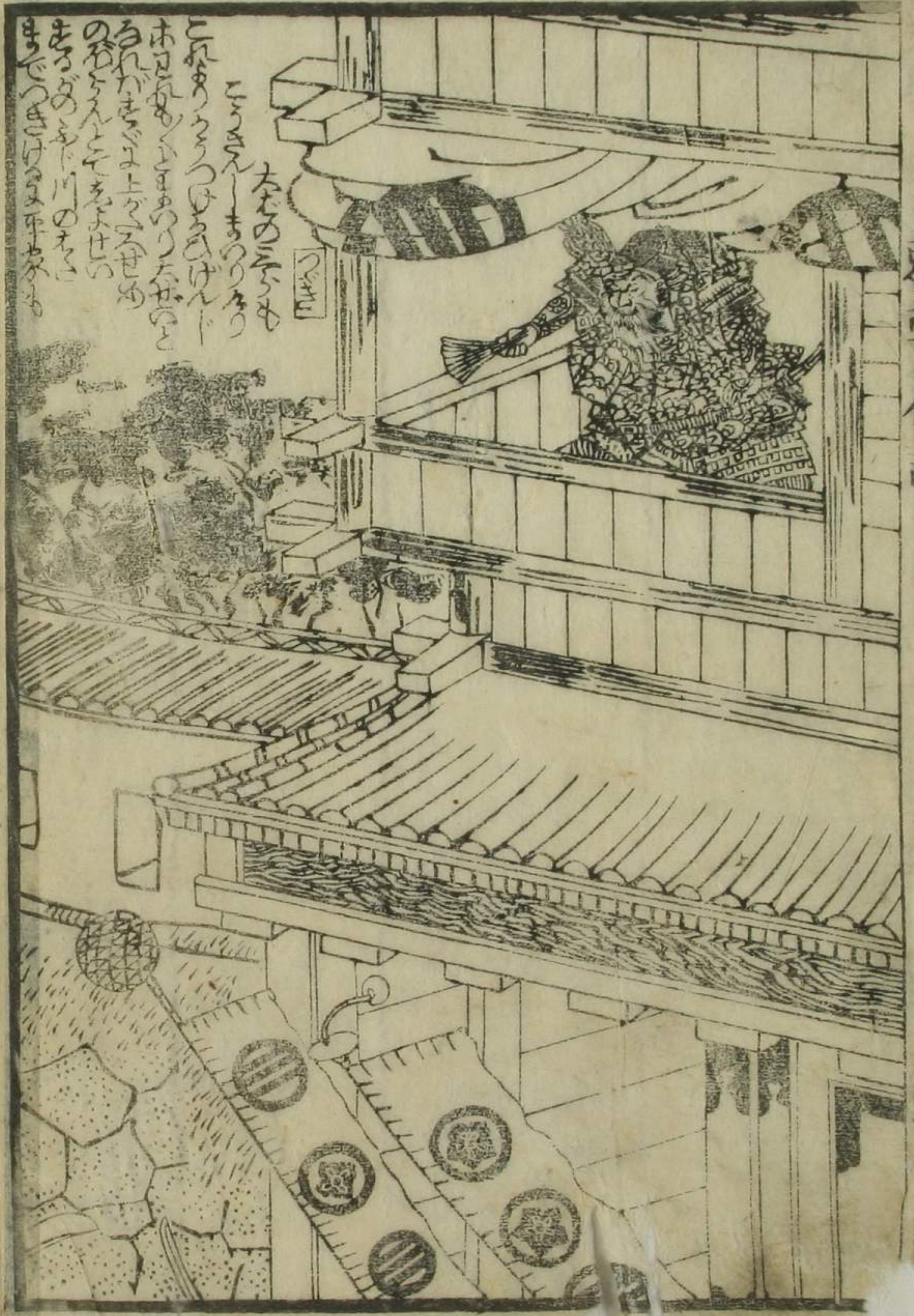
八月廿二日右の寺の... 山部... 月... 大... 平... 山... 天... 大... 平... 天... 大... 平... 天... 大... 平...



この寺... 山部... 月... 大... 平... 山... 天... 大... 平... 天... 大... 平...

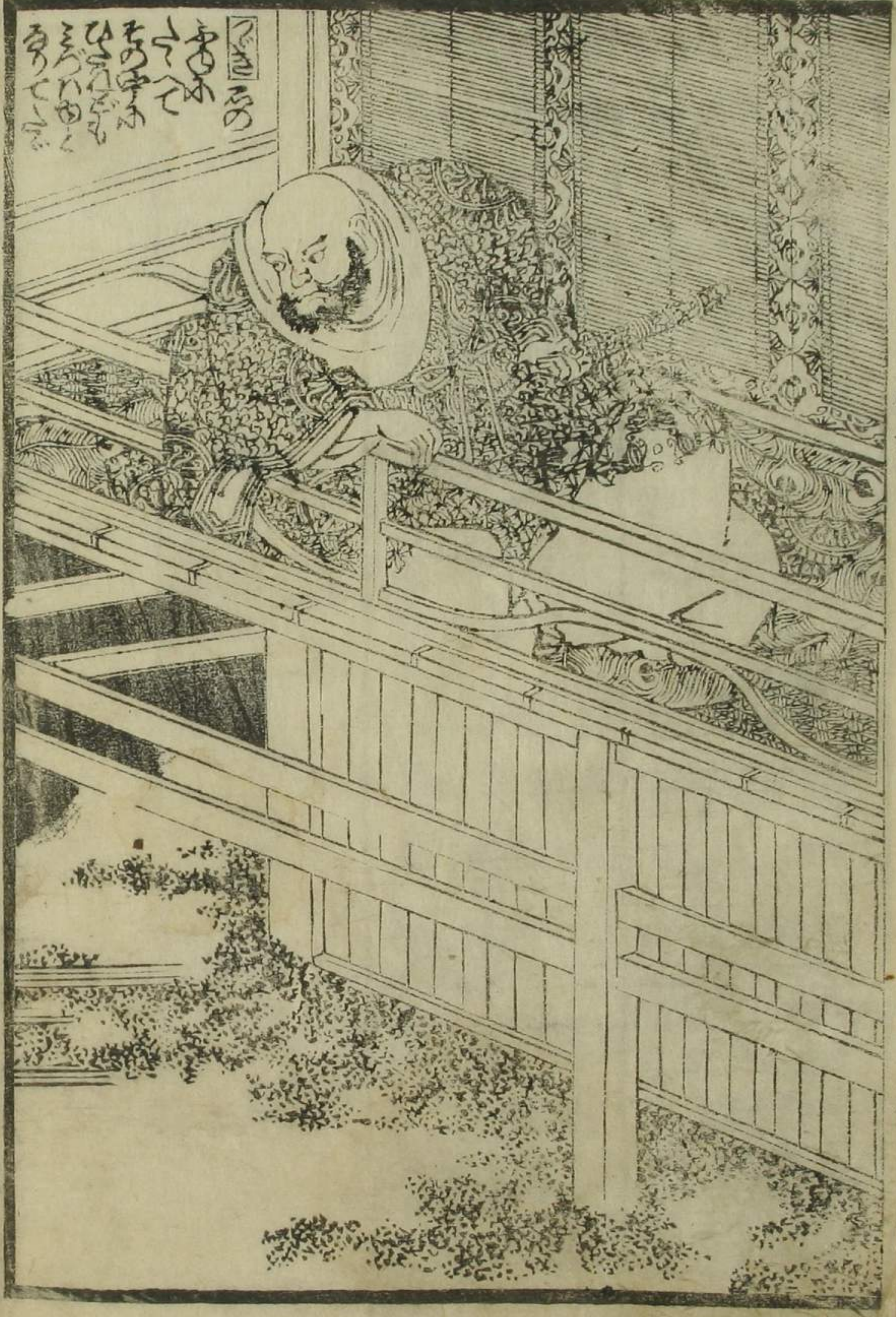


この寺... 山部... 月... 大... 平... 山... 天... 大... 平... 天... 大... 平...



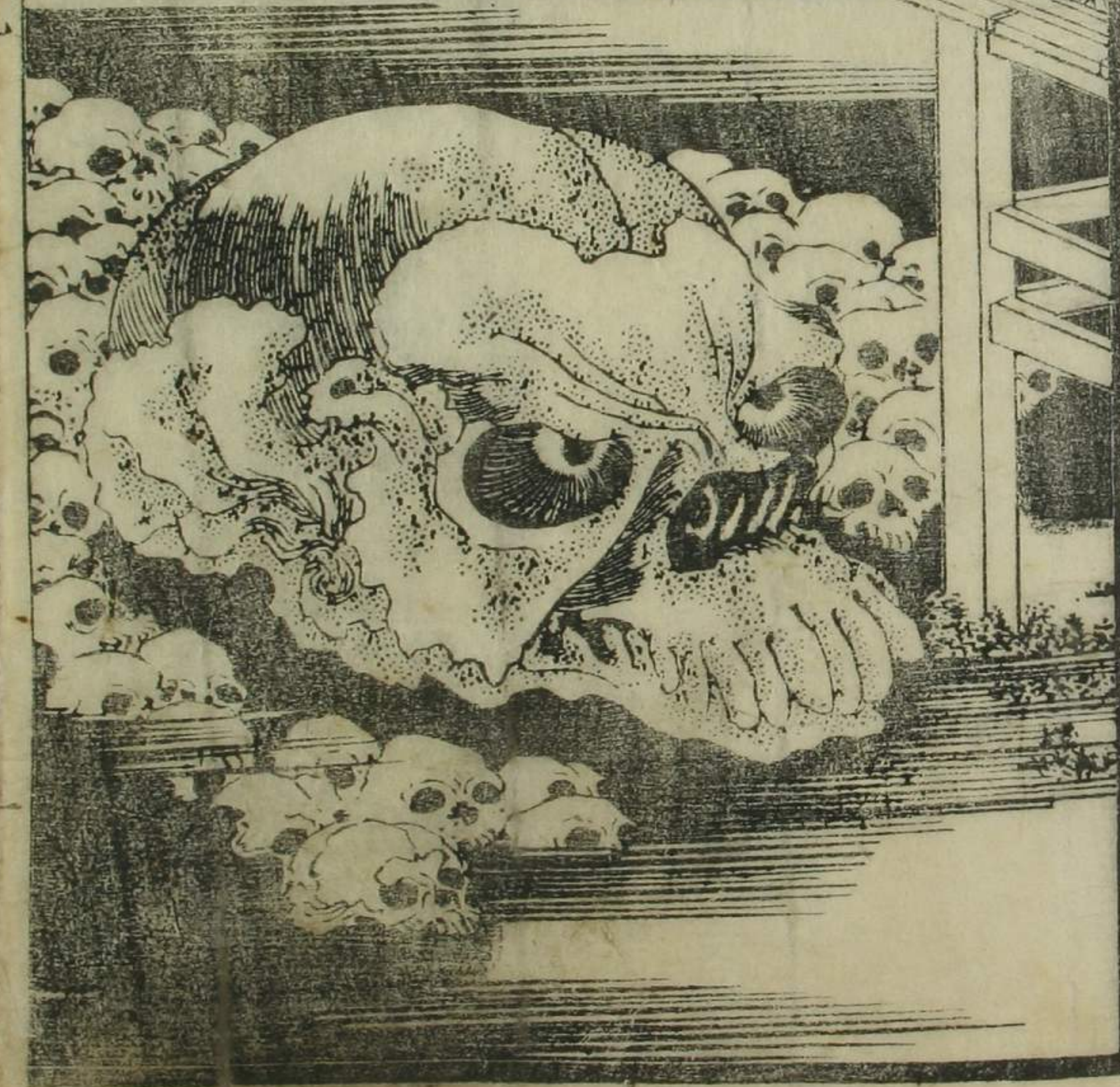
大なるてふも
このまゝいふは
はじまりの
のちをいふ
まゝのちをいふ
まゝのちをいふ

Handwritten text in Japanese, organized into vertical columns. The text includes various characters and some small illustrations. At the top, there are several lines of text. In the middle, a large, dark, stylized illustration of a pine tree branch (bushu) is prominent. Below this, there is a circular diagram or seal-like illustration. At the bottom, there are more lines of text and a small illustration of a rectangular object, possibly a tablet or a piece of paper with markings.

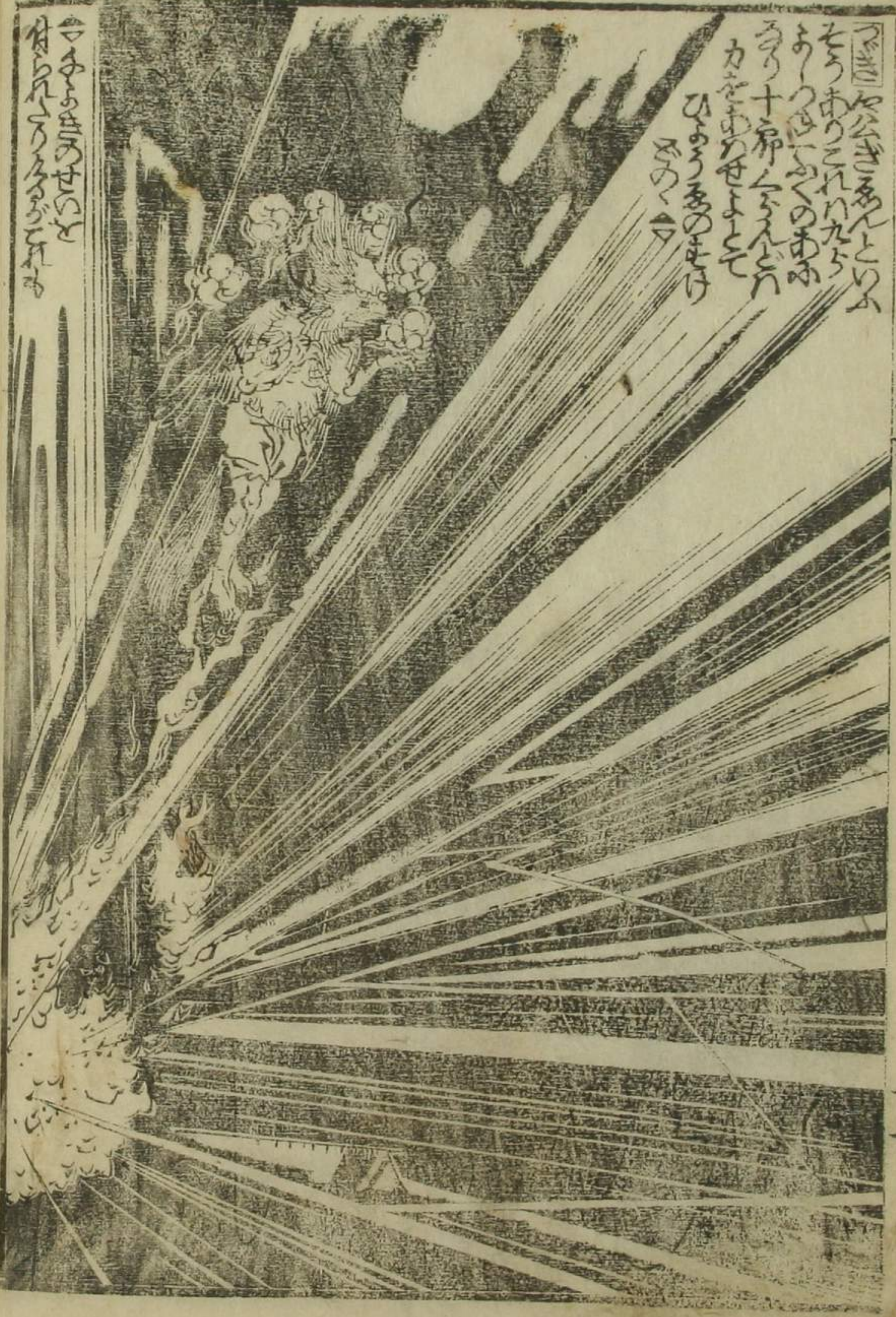


あつて
その中
ひらけ
るてい

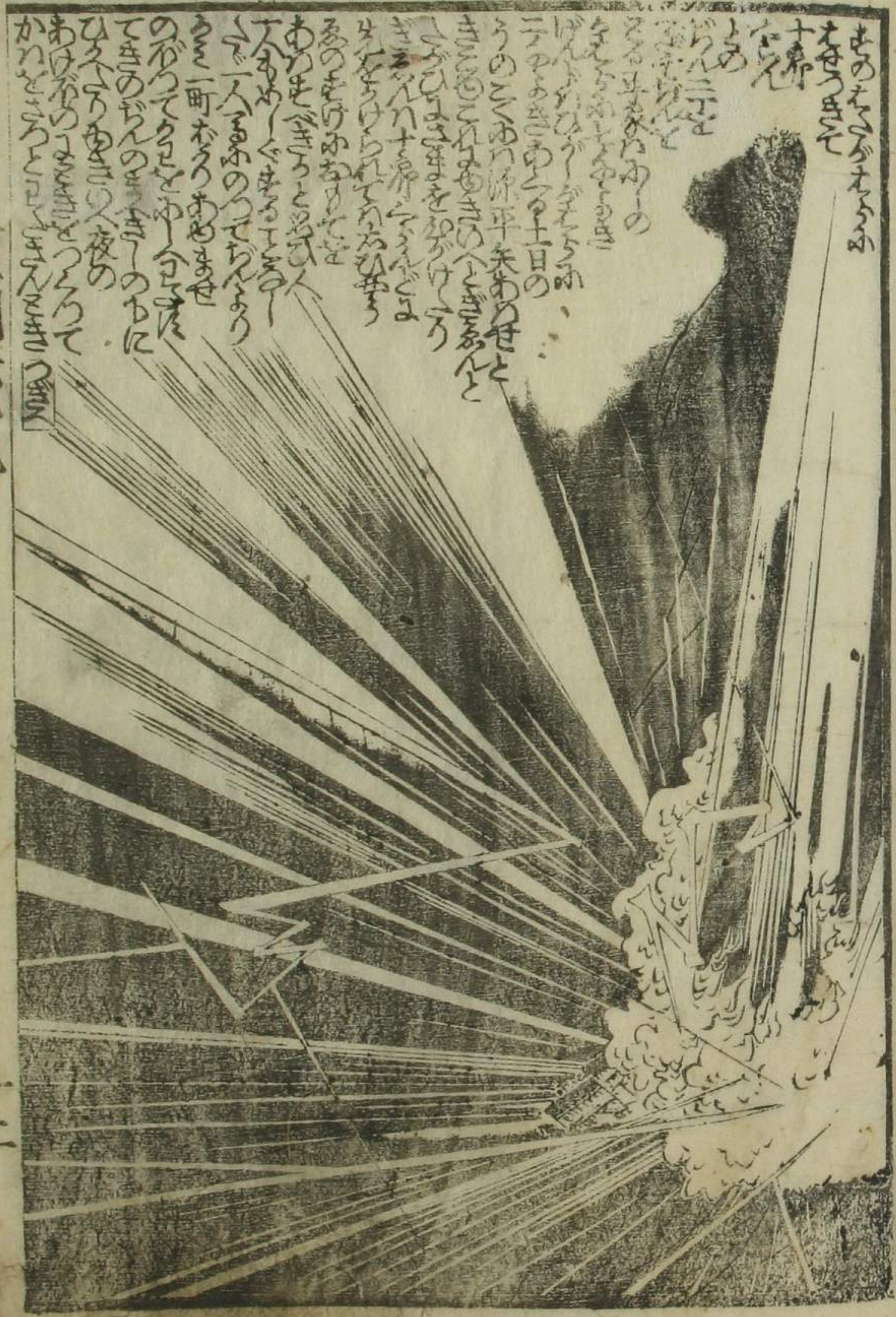
あつて
その中
ひらけ
るてい
あつて
その中
ひらけ
るてい
あつて
その中
ひらけ
るてい
あつて
その中
ひらけ
るてい
あつて
その中
ひらけ
るてい



さうありこれの九つ
ありついでこのあめ
ろろ十糸くさへん
力をあせよとて
ひつろあまのまけ
あめく



さうありこれの九つ
ありついでこのあめ
ろろ十糸くさへん
力をあせよとて
ひつろあまのまけ
あめく



さうありこれの九つ
ありついでこのあめ
ろろ十糸くさへん
力をあせよとて
ひつろあまのまけ
あめく



八月廿九日
 平家朝臣
 源朝臣
 今三言
 今三言



八月廿九日
 平家朝臣
 源朝臣
 今三言
 今三言

八月廿九日

大府の
 四代
 〇

〇わち
 又ら
 〇わち
 〇わち
 〇わち



この山は...
木の根が...
月のてら...
小すま...
かしの...
ゆき...
月のてら...
木の根が...

東草一ノ言



この山は...
木の根が...
月のてら...
小すま...
かしの...
ゆき...
月のてら...
木の根が...

須明一ノ言



御免江戸曆開板所
毎年十月下旬迄より
御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所

御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所

御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所
御免江戸曆開板所

御免江戸曆開板所

毎年十月下旬迄より
御免江戸曆開板所

載陽帖

南山禅師書
東海道
四季和文章
石摺木曾海道

道法早筭用道中記
一枚撮

新撰 日本名所之繪

唐紙摺一枚

蕙齋鋏形
紹真筆

新撰 女古狀揃園生竹

大本
半紙本

両品出来
高井蘭山編撰

還魂紙料

柳亭種彦隨筆
古画入二冊

田喜菴輯
女住菴記引證

若の心もを

田喜菴輯
女住菴記引證

叢笠翁 筆 玄同放言

初編 二編 三編

叢笠翁 筆 玄同放言

右才三編二冊は
叢笠翁 筆 玄同放言
初編二編に
叢笠翁 筆 玄同放言

世色 藤原

三畝註本木校輯 芳州集全冊 開國八州の八羽隊奥田斐後流すの小玉筋中首の...

同輯 蕨蘭集全冊 追系筋系伊勢道に河尾流すの西宮筋に...

歡童 遊言画手本一名烏羽繪早まび出来

廣益 懷中早割大金 小本 ありては...

新形深彩目 植花手引系 前編出来 後編...

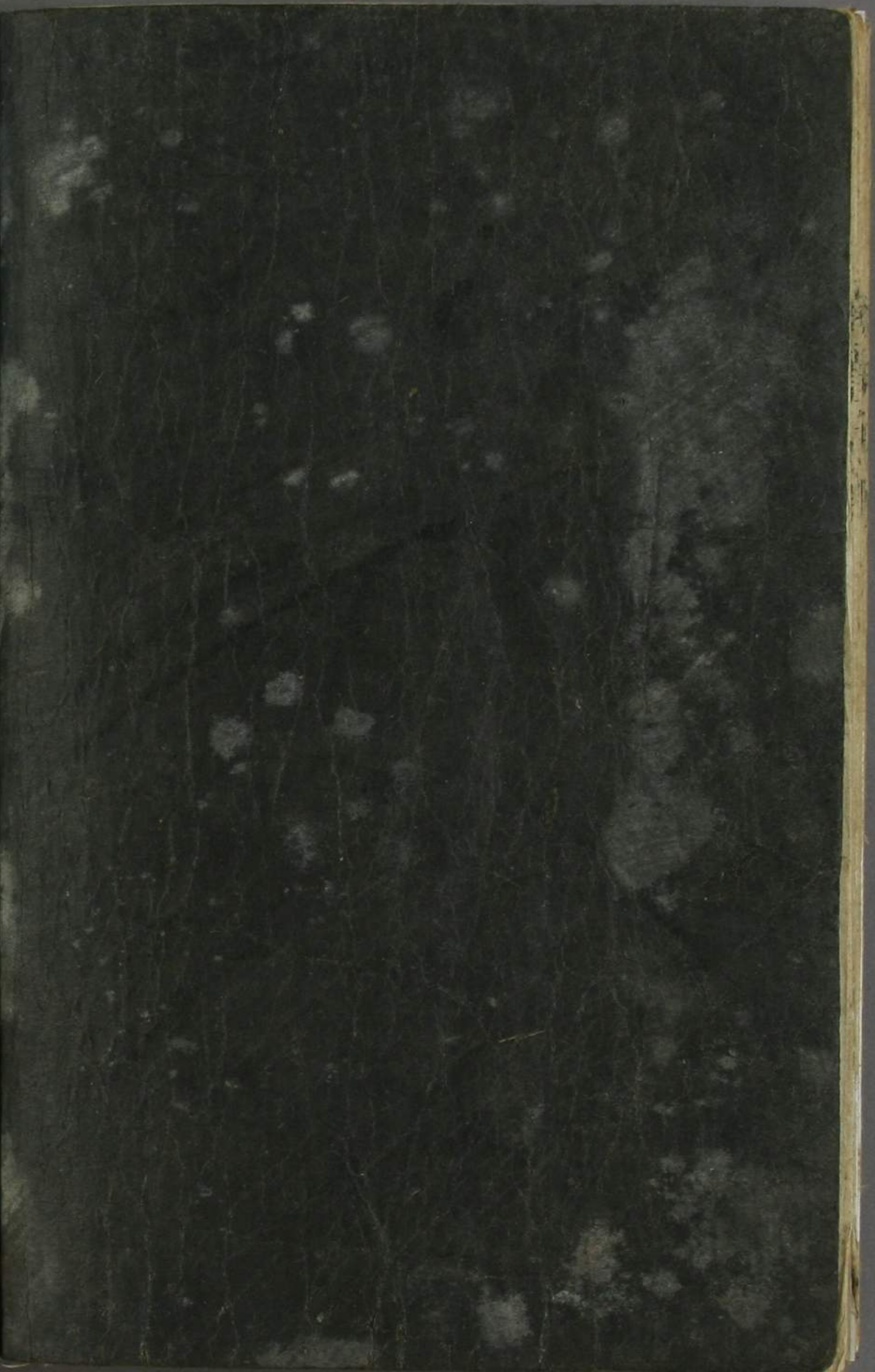
芝居似顔早替古 後編 全冊 五渡亭國員画

八文字自笑評 藝品定役者評判記 全冊 藝品定役者...

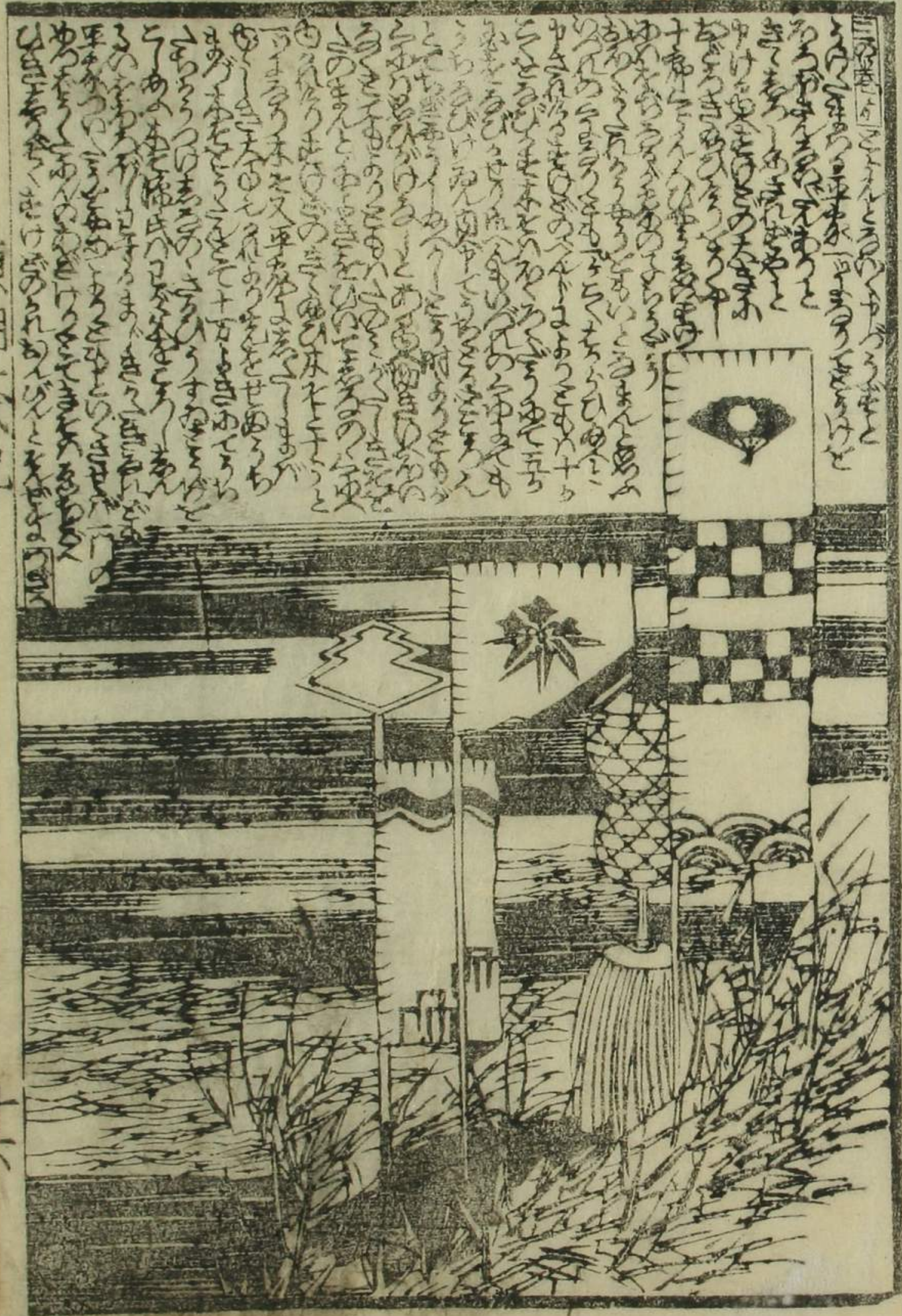
即考百籤 全冊 藝品定役者...

家海

海



原後



通油町

十一

石橋山

義兵白旗

下冊

甲午

孟春

鳥有山人作

通油町

秋川國芳画

鶴屋版

西暦一九二二年の三月
 うまれんことかきくみまを
 ひつらそやせかゆいまの
 ちりあはせんとくせしき
 なかひんがこれをあつあつ
 本所のあちやまてあつあつ
 くのひらちかちかちかちか
 世のそとあつあつあつあつ
 ありてあつあつあつあつ
 あつあつあつあつあつあつ
 ちりあはせんとくせしき
 なかひんがこれをあつあつ
 本所のあちやまてあつあつ
 くのひらちかちかちかちか
 世のそとあつあつあつあつ
 ありてあつあつあつあつ
 あつあつあつあつあつあつ

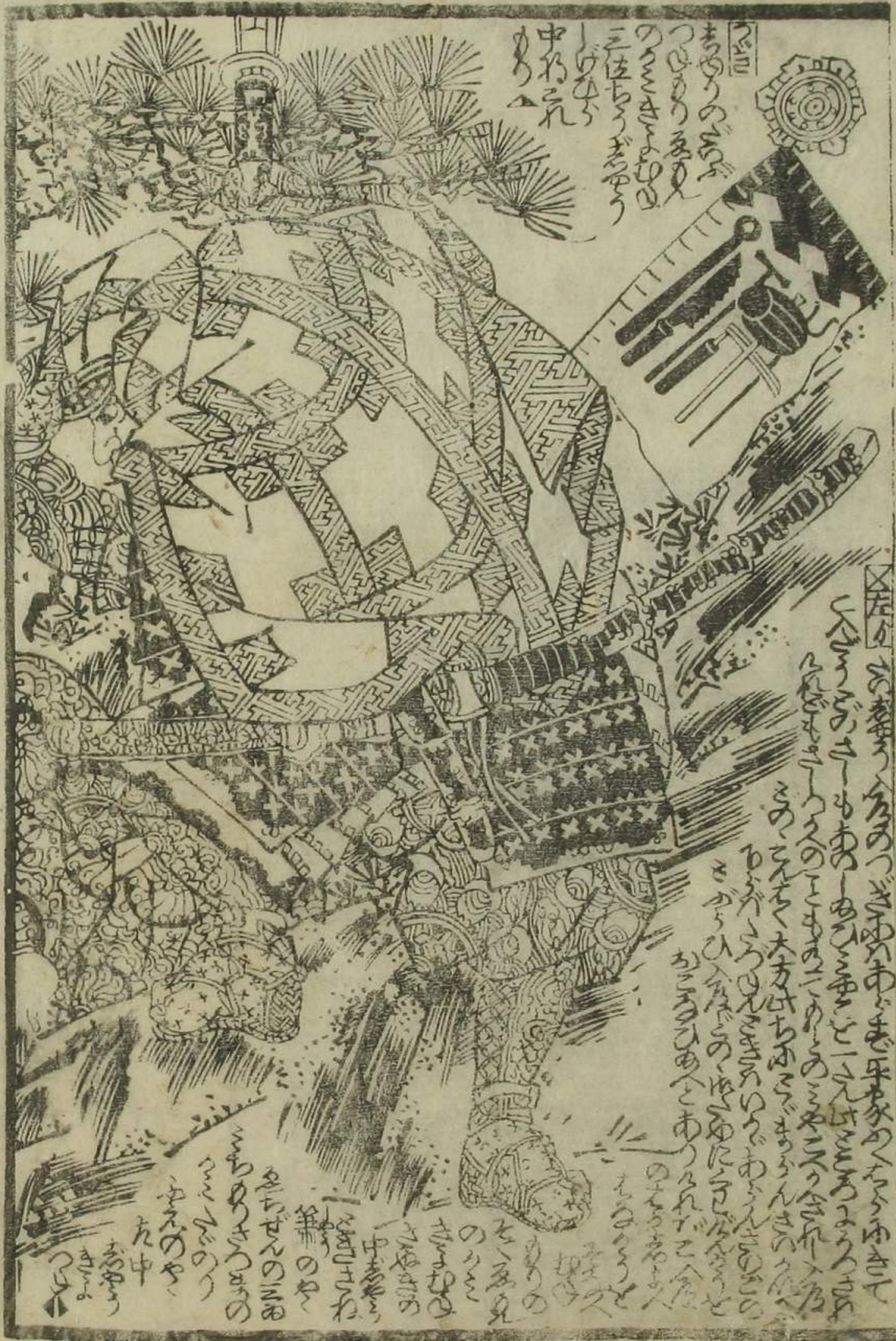


西暦一九二二年の三月
 うまれんことかきくみまを
 ひつらそやせかゆいまの
 ちりあはせんとくせしき
 なかひんがこれをあつあつ
 本所のあちやまてあつあつ
 くのひらちかちかちかちか
 世のそとあつあつあつあつ
 ありてあつあつあつあつ
 あつあつあつあつあつあつ

十一
 西暦一九二二年の三月
 うまれんことかきくみまを
 ひつらそやせかゆいまの
 ちりあはせんとくせしき
 なかひんがこれをあつあつ
 本所のあちやまてあつあつ
 くのひらちかちかちかちか
 世のそとあつあつあつあつ
 ありてあつあつあつあつ
 あつあつあつあつあつあつ



西暦一九二二年の三月
 うまれんことかきくみまを
 ひつらそやせかゆいまの
 ちりあはせんとくせしき
 なかひんがこれをあつあつ
 本所のあちやまてあつあつ
 くのひらちかちかちかちか
 世のそとあつあつあつあつ
 ありてあつあつあつあつ
 あつあつあつあつあつあつ



山
の
中
に
あ
る
神
社
の
御
宇
を
見
し
て
は
大
に
驚
き
し
と
い
ふ
事
也
と
い
ふ
事
也

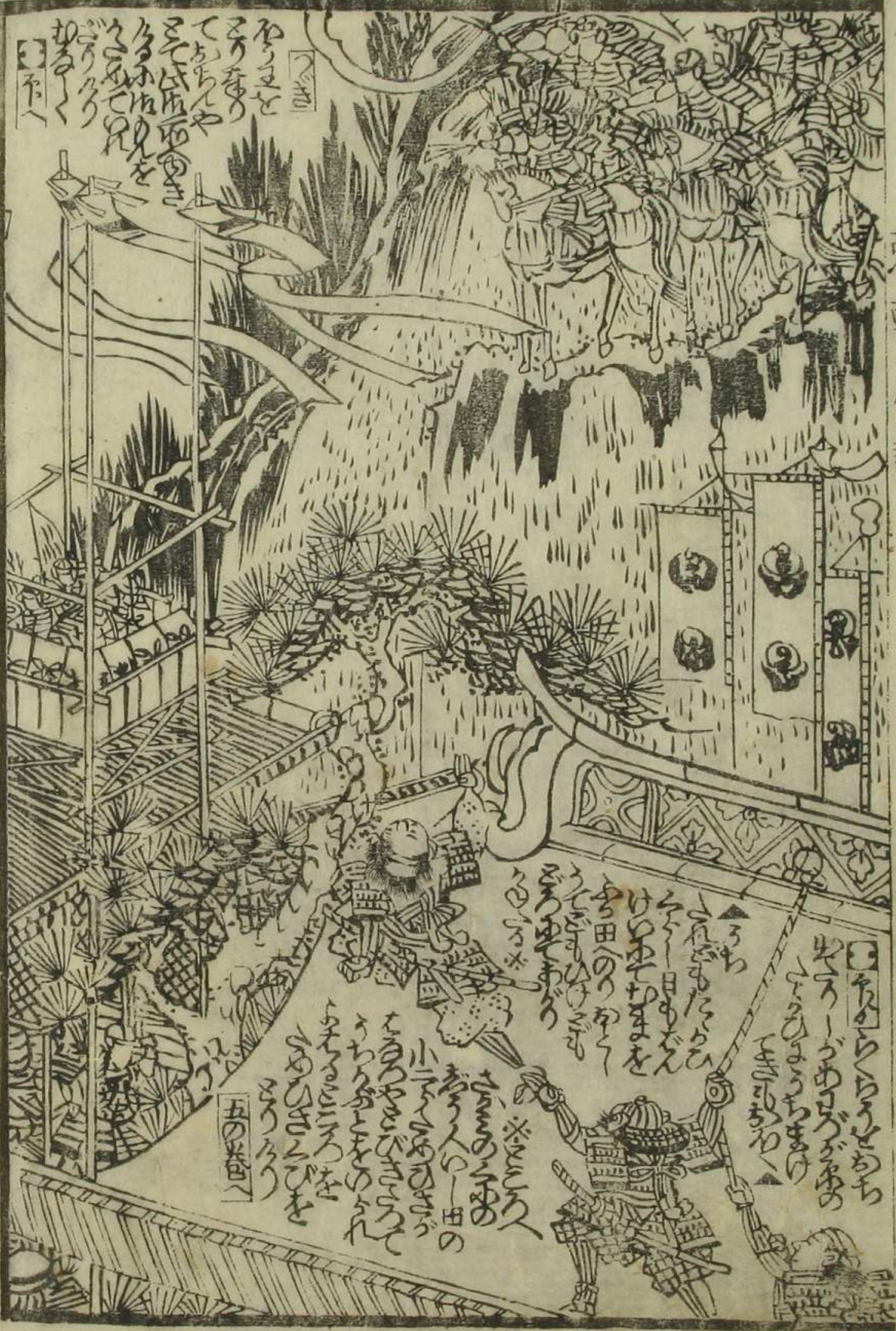
此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。

此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。



山
の
中
に
あ
る
神
社
の
御
宇
を
見
し
て
は
大
に
驚
き
し
と
い
ふ
事
也
と
い
ふ
事
也

此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。此の御宇に於ては、平家朝臣の御宇に於ては、大に驚きしと云ふ事也。



ねんせ
 てちんや
 びんが
 うんご
 ちんが
 ちんが

ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが

ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが

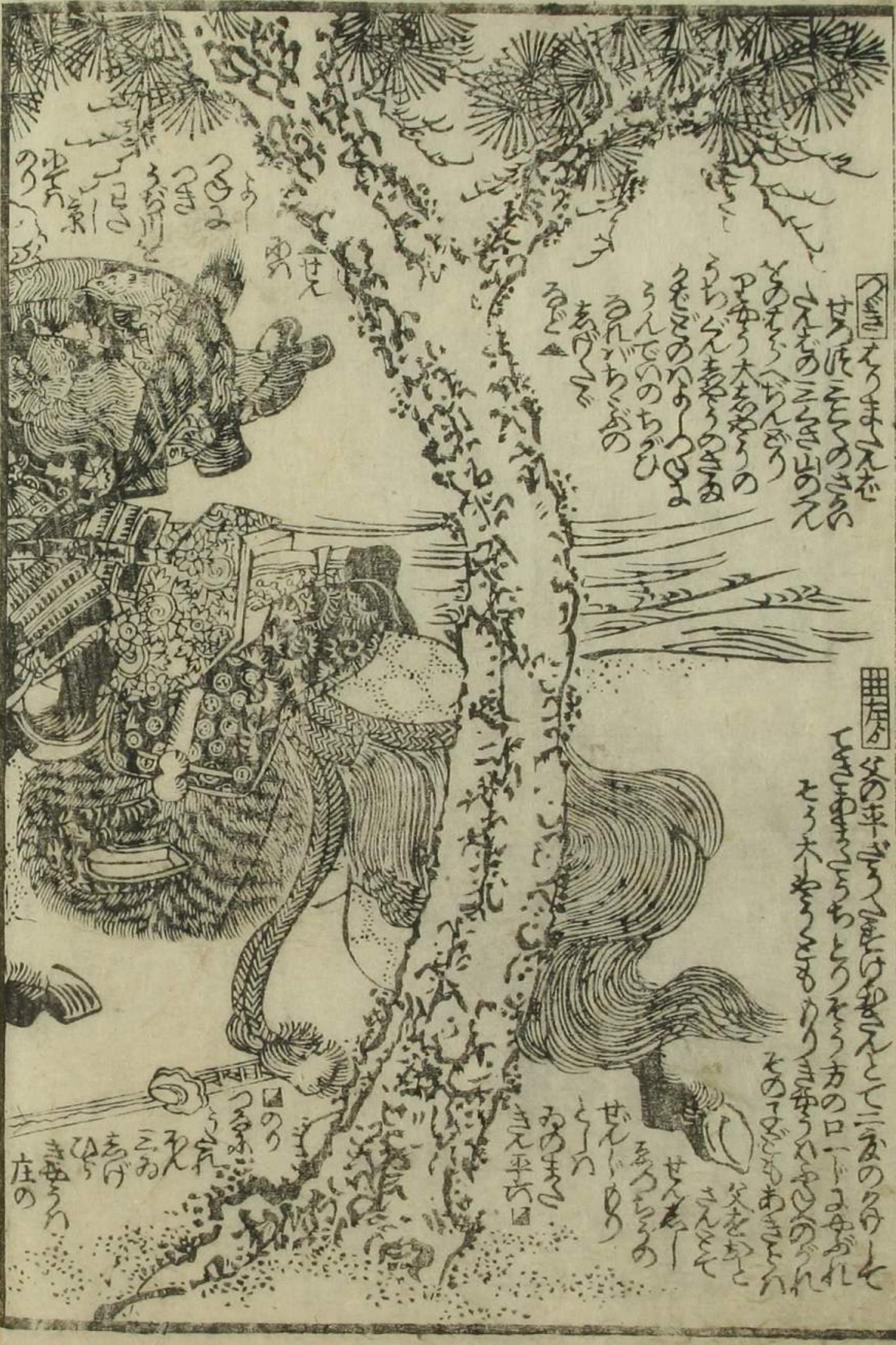


内田
 ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが

ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが

ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが
 ちんが

三つ子...
 山の上...
 大...
 ち...
 ん...
 ん...



四...
 父の平...
 ち...
 ち...
 り...
 り...
 り...

父...
 父...
 父...
 父...
 父...
 父...



三つ子...
 山の上...
 大...
 ち...
 ん...
 ん...

父...
 父...
 父...
 父...
 父...
 父...

御家をのせん **正流 大書狀安文** 世不用文章序と云ふも文章は遠く日用するにあらんや
古風し書也不用は此公文相准依ふことり
毎本に依りて依て大書と云ふこと大には其の云ふこと

消息往来詳註 高井蘭山述 全一冊

隅田川兩岸覽北齋筆 袋入 全三冊

消息往来 高井蘭山述 全一冊

江戶名所東鑑惠齋筆 以全三冊

合則 壽福二世相大鑑 全冊

江戸名所物見丘清長筆 以全三冊

奉獨枕昔古 中本 山櫻連々 逸軒撰舟作

戲場頭微鏡 黙々漢隱作 以全三冊

百人一首 立里講譯 八冊

油町 菜種黃表紙 全四冊

傾城水滸傳第十三編 八冊

若衆哉梅條振 全六冊

三國志畫傳第八編 八冊

國字水滸傳十三編 四冊

石橋山義兵白旗 全五冊

星下梅花咲 全六冊

戀山崎妹脊相駕 全六冊

浮世世說 四冊

修紫田舎源氏 全編 三編 貞貞編

旗飄菟水葛葉 全六冊

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

團扇地紙

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

仙女香 十八孔義香 甲孔坂夷製

問屋鶴屋喜右衛門

